

2025年8月21日
株式会社新日本科学

<https://snbl.com>
(証券コード:2395 東証プライム)

株式会社カルディオインテリジェンスとの AI を活用した 長時間心電図の解析技術に関する共同研究開発契約締結のお知らせ

株式会社新日本科学(本社:鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長:永田良一、以下 当社)は、株式会社カルディオインテリジェンス(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:田村雄一、以下 カルディオ社)と AI を活用した長時間心電図の解析技術に関する共同研究開発契約を締結しましたのでお知らせいたします。

新しい医薬品が世に出るまでには、その薬が体にどんな影響を与えるか、特に心臓に問題がないかを実験動物等を用いて確かめる「安全性試験」というステップが欠かせません。この試験では「心電図」という検査で心臓への影響を確認します。開発中の医薬品等候補品には副作用が認められることがあり、心電図で検出できる異常の中には、「QT 延長」という心臓の電気信号の伝わり方が少し長くなってしまう状態を示す心電図波形があります。これが重症化すると、めまいや失神、場合によっては命に関わる危険な不整脈につながる可能性があります。そのため医薬品開発ではこの QT 延長が起きないか、慎重に調べる必要があります。近年、医薬品規制調和国際会議 (ICH) が作成したガイドライン「ICH-E14/S7B Q&As」では、医薬品開発における安全性試験の評価のための新たな推奨事項が示されており、短時間ではなく、24 時間以上の連続的な心電図解析 (QT 間隔解析) へのニーズが高まっています。しかし、長時間の心電図を人の目で全て確認するのは現場で時間と労力がかかる作業です。

本共同研究開発では、当社が非臨床 CRO として長年培ってきた経験やノウハウと、カルディオ社が保有する AI を活用して心電図を自動解析し QT 延長や不整脈を見つけ出す技術(「長時間心電図用連続 QT 解析技術」および「不整脈解析技術」)を組み合わせ、製薬会社や研究機関向けに実験用大動物の心電図データを解析する受託試験サービスの体制を共に構築することを目指します。両社の強みを生かした取組みを通じて、医薬品開発における安全性試験の業務効率化、ひいては医薬品開発の活性化につながることを企図するとともに、その成果は学会・論文発表へも繋げてまいります。なお、本件による当社業績への影響は軽微です。

医薬品開発における安全性試験のDX推進へ、
AIを活用した『長時間心電図解析』の技術開発および事業化を目指す





PRESS RELEASE

当社は「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」と掲げた企業理念のもと、創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放するという使命を果たすことに資するべく、新規技術の研究と導入を継続してまいります。

本件に関するカルディオ社のニュースリリースは[こちら](#)をご覧ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)新日本科学 IR 広報統括部 TEL: 03-5565-6216
